

# 那須工場

モーターサイクル用タイヤをはじめ、  
乗用車用、農業機械用、産業車両用タイヤなど幅広く生産

操業開始 1962年3月（国内タイヤ工場として3番目に操業開始）

敷地面積 196,787m<sup>2</sup>

生産品目 乗用車用、二輪車用、産業車両用、農業機械用、小型トラック用タイヤ



①正門 ②お客様センター ③コ・ジェネレーションシステム ④物流倉庫  
⑤西工場 ⑥工場本館 ⑦東工場

## ブリヂストンのモーターサイクル用タイヤ主力生産工場

1962年にブリヂストンの国内3番目のタイヤ工場として操業を開始したのが那須工場です。その後栃木工場に加え、タイヤの実地テストを行うブルーピンググラウンドを立ち上げ、今日、栃木県那須塩原市はブリヂストングループの一大生産拠点となっています。

那須工場では乗用車用ラジアルタイヤ、モーターサイクル用タイヤを主軸に産業車両用、農業機械用タイヤまで幅広く生産しています。特にモーターサイクル用タイヤについては、国内外に展開するブリヂストングループの中で唯一の生産拠点となっており、スクーター用タイヤから高性能ラジアルタイヤ、市販用レース用タイヤに至るまで幅広く生産しています。また国内外のスタッドレスタイヤの生産拠点としても重要な位置づけとなっています。



モーターサイクル用タイヤ  
BATTLAX



スタッドレスタイヤ  
BLIZZAK

## 厳格な品質管理とさらなる生産性向上への取り組み

ブリヂストンでは、「最高の品質で社会に貢献」を使命としてあらゆる企業活動を実践しており、工場の生産活動においても、きめ細かい品質管理が徹底して行われています。那須工場では、常に生産性向上を目指して、決めたこと・作業標準をしっかり守り、全員改善・毎日改善に各現場で活発に取り組んでいます。

## 地域社会の一員として

那須工場では地域から愛される工場であるために、地域のイベントである「キャンドルナイト」への参画や地域の子どもの学びの場を提供する「出前工場見学」など、地域と連携した社会貢献活動に取り組んでいます。

また環境貢献活動として、近隣の河川や森林の保全を目的に、「エコピアの森 那須塩原」や「稚魚放流会」などの活動に取り組んでおり、那須地区の環境保全に貢献しています。

## 環境に配慮した工場を目指して

那須工場は、住宅地に隣接する工場として、防災対策と共に、廃棄物、排ガス、排水、臭気における環境への悪影響を未然に防止する取り組みを行っています。さらに、那須高原の麓という恵まれた自然環境との調和を図り、工場構内の緑化にも力を注いでいます。

また、省エネルギー活動を中心に地球温暖化防止に向けた取り組みも積極的に行っています。那須工場ではCO<sub>2</sub>排出量の削減に大きく寄与するコ・ジェネレーションシステム<sup>(注)</sup>を導入しており、2003年8月から稼働を開始しています。2012年からは燃料として環境負荷が少ないとされるLNGを利用した発電方式に変更しています。

その他にも工場屋根への太陽光パネル設置や、2023年1月からは工場で使用すすべての購入電力を100%再生可能エネルギーへ切り替えており、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。

(注)コ・ジェネレーションシステム：

1つの燃料から電気や熱などの2つ以上の有効なエネルギーを発生させるシステム。ブリヂストンでは、発電時に発生する廃熱を利用して蒸気を発生させ、エネルギーを効率的に利用しています。



コ・ジェネレーションシステム



太陽光パネル



キャンドルナイト



出前工場見学



エコピアの森



稚魚放流会



生命(いのち)の土プロジェクト



カフェムシ公開



# 私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

## 空気圧点検

ご存知でしたか、タイヤの空気圧は自然に低下します(1ヶ月で約10~20kPa)。走る前に冷えている状態で定期的(月1回)に点検してください。適正空気圧は車種によって異なります。運転席側のドア付近に貼付された、空気圧表示シールで確認してください。

エアゲージをお持ちでない方は...



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



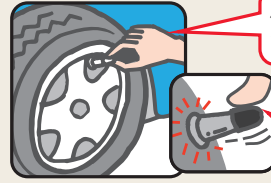
タイヤが冷えているのを確認してから  
走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



**エアゲージ**  
ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



**石鹸水**  
石鹸水をつかって、バルブからの空気の流れがないか確認します。



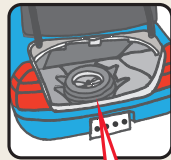
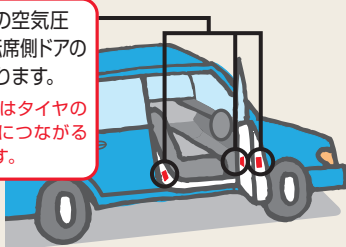
**バルブキャップ**  
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかり締め直しましょう。

バルブキャップはしっかりと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック!

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。  
空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに!

## チッ素ガスのお勧め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。チッ素は空気に比べこの“自然低下”を抑えることができます。

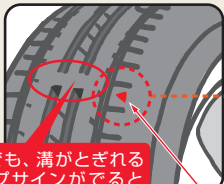
### チッ素ガス充填のメリット

- 1 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- 2 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



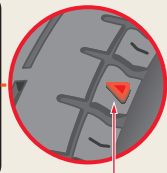
## タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです!



1ヶ所でも、溝がとぎれるスリップサインがでると危険です

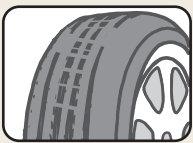
拡大図



これがスリップサイン表示マークです

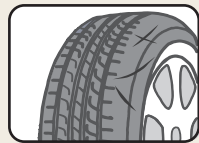
残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを付けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

## タイヤチェック、3つのポイント



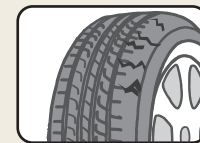
### ① ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



### ② キズ

小さなキズが大きくなるとバーストを起こす可能性があります。



### ③ ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正值より50kPa(0.5kg/cm<sup>2</sup>)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。\*1

燃費悪化率2% (市街地)、月に1,000km走るとして燃費=10km/ℓ、ガソリン代=146円/ℓ \*2 で

なんと ガソリン代 約3,500円/年の損失 \*3

更に CO<sub>2</sub>排出量も増加します。

出典 / \*1: (社)日本自動車工業会

\*2: 石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価

\*3: (社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算



当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bridgestone.co.jp>

## 株式会社ブリヂストン

那須工場  
栃木県那須塩原市東大和町3-1 〒325-0041  
電話 (0287) 63-2311

那須工場 / 東北新幹線 那須塩原駅下車 タクシー約15分  
東北本線 黒磯駅下車 徒歩約20分  
東北自動車道 那須ICより約15分